

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日

R7年 11月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 横浜中田教室

保護者等数(児童数) 21名

回収数 21件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21				手厚いと思います。	プラス1を心掛けております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21				階段が適度な運動になっていて体幹が鍛えられ転びづらくなりました。	階段から落ちない転ばないように気を付けております。荷物の多い日は先生にお願いするように伝えてください。特に一年生は転びそうです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21				いつ行ってもきれいです。	切り替えのできなかったお子さんは児童発達支援の部屋で落ち着いて過ごしていただくこともあります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				学校でのストレスもあるかと思いますが、家では大きな変化もなく落ち着いて過ごせているのは子供を理解して接して下さるからだと思っています。	ありがとうございます。 年が上がってくると学校でもいろいろあると思うので、よき話し相手になればと思っています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					ありがとうございます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				親としては目の前の課題に目が行きがちですが将来を考えた計画内容や支援をしてくださっていると思います。	大人になってからのほうが人生は長いです
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				中学生になり勉強面以外で困ることがなく小学生からの支援のおかげだと思っています。	ありがとうございます。今後ともよろしくをお願いします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					ありがとうございます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1			夏休みはイベントも取り入れてくれるので飽きずに楽しく通えています。イベントには本人が楽しんで参加しています。	頑張って考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1		3		年に2回ほど申し込みをしますが、感染症やなんやらで実現できていませんが、公園では地域の子どもと遊んでいます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1		1	仕事で参加が難しくでしたが、もう少し早く予定がわかれば参加したいです。	ありがとうございます。もう少し早くお知らせができるように検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21				家では、わからない子供同士の時の様子やいつもと違うことがあると教えてくれます。	普段と違うことがあるときはすぐにお電話いたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				困ったときに相談に乗っていただき前向きに考えにさせていただいています。	いつでもお電話ください、お話ししましょう！
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	1	7	このような交流の場があったらうれしいです。	来年度はご家族参加型のプログラムを考えます。父母会の会長は毎年募集しています。どなたかお願いします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		3	いつも相談に乗ってもらっています。	いつでもお電話ください。連絡帳にかいていただければお電話いたします。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21				ありがとうございます。お手紙で配布しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1			わからないのは、どの部分でしょうか。コメントがなかったので、不安に思っていましたら申し訳ありません。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			1	いつでも閲覧できるようになっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21				発生を想定し引き渡し訓練もしております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21				安全第一です。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3		2	全員の方にご報告をしなければならない事故等はありません。お子さん個人間のことは、直接ご報告させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21			ホッとできる場所と言っています。気持ちの晴らしになっているようです。	ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21			お友達に会うのを楽しみにしています。学校で嫌なことがあってもこぼんにはいくと言います。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			いろいろ経験をさせてもらい心も大きく成長しています。大変満足しています。臨機応変の対応ありがとうございます。	ありがとうございます。

公表日

R7年

11月

20日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜中田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		教室のスペースは十分あります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		プラス1で配置させていただいています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		教室は2階ですが、教室の中は玄関に少しの段差があるだけです。	玄関の段差を時々言われますが、お子さんに玄関では靴をぬぐことを促すためにわざと玄関の段差にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		午前の支援の終了後も掃除や除菌をおこなっております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	お部屋が2つありますので、そちらで過ごしていただいています。	小さいお部屋が3つありますが、もう少し使いやすくてきたらと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		常勤者は参加できていますが、非常勤の方は時間に制限がありますので難しいばあいもあります。	非常勤も参加できるよう隙間時間を利用したり、連絡ノートを利用したりしています。。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		お手紙を出して、周知をしています。	保護者に伝わり切れていない部分があるようですが、幼稚園や保育園のお手紙は見るがこぼんのは見ていない可能性が。。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		隙間時間や個別の面談を通して職員の意見は把握しています。	事業所で、できることできないことがあること。その内容のことをやってくださいと言ってもやっていただけないことがあるので、職員の皆様も言うだけでなく、形にする努力をしましょう。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	フランチャイズによる評価を受けています	検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	こぼんの研修には参加しております。事業所研修・法人内研修も行っております	非常勤の方も外部研修にも行けるように検討いたします非常勤の方は、時間や日時が限られているのでお互いに関わる努力をしたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月配布をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		非常勤の方にも支援時の様子を聞いています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	個人ファイルに入っています、いつでも見れるようになっています。	隙間時間を使った支援会議をすることが多くありますが、支援会議をしますとか、言わずに話し始めてしまうので共通理解までいたらないのかもしれない。今後は〇〇さんの支援会議をやります等宣言してから開始します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		口頭で伝えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		毎日記入している連絡帳もツールの一つです。理解をしていただけるようにお話ししていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		その都度必要に応じてしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	記入ができる用紙を置いてありますが、お声掛けにも反応が薄いのが現状です。	参加していただきたく毎年イベント部を募集しておりますが、どなたも名を挙げてくれません。ぜひ参加してください。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		今のお子さんに必要と思われるものを提供しております。	準備に時間が欲しいものとか、職員間の話し合いがないとかいろいろ改善はできそうです。工夫をします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			おこなっております。

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	打ち合わせは、しています。	役割分担を決めると、それしかやらない方が、出てくるので今は役割分担はしていませんが、必要があれば検討します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	管理者は非常勤の方とふりかえりをしていまずし、それを常勤にもつたえています。	常勤・非常勤のあいだで、コミュニケーション円滑に取れるように工夫をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日報に記録しています。	日報の記入者はほかの職員から話を聞くことをしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度ではなくて、必要に応じてしている。	隙間時間を使ったり、1週間をかけ職員全員にきくようにしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		おこなっている	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		二つの選択肢の中から選ぶなど遊びの中からしている。	もう少し多くすることが必要。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		会田クリニックをお願いをしている。食育の大切さについて保護者向けに講演をしていただきました。	会田クリニックでは、障害児に栄養面から助言をしてくれたりします。周知していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			放課後等デイサービスをあまりよく思っていない学校や学校の職員がいます。特定の放課後等デイサービスをひいきしたりするのを見かけます。こちらからはいつでも情報共有できる体制であります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		書面で求めたことがありましたが、その後連絡がありませんでした。	幼稚園では要録があると思います、学校に提出だけでなく、こちらにもいただけると助かります。つながりを作っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		まだそのようなことがありません。	学校を卒業する方がいるときはしっかりと情報提供させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			今後取っていかれたらと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8			申し込んでいますが、色々難しいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		児発管が出席しています。	積極的に参加したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や送迎時、お電話でお話をさせていただいております。	もう少し増やします。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		お手紙にて配布しています。今年度は「スケジュール管理術」「こぼれまつり」「廃材アート展」を開催しています。	アンケートをとると、保護者会がないやりたい、というこえがありますが、募集をすると挙手がありません。良い考えがあれば知りたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にしています。	ホームページにも記載しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		子供の意向や保護者の意向をしっかりと聞いている。	今後も意思を尊重することを一番にしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援計画の説明をし、署名・印をもらっている。	継続していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		電話や面談で相談に応じている。	継続していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8		保護者多忙のため今後検討する。	父母の会の会長さんを毎年募集しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		児発管が対応している	継続していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的に写真付きの新聞、ホームページのないブログにのせている。	継続していく

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付き棚に保管している	継続していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		電話や底面での情報伝達の機会をこまめに取るよう心掛けている	配慮を怠らないよう周知していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		こばん祭りの際は近所の方を招待している	来てもらえるように促していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		誰もが閲覧できるようにしてあります。訓練もしています	継続していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		作成してある、訓練もしている	継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		している。	保護者全員かられんらくがくるように促す必要がある
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーの物は出さない。	継続する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		研修で安全計画の確認・実施に努めている	継続する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		常にお知らせしている	継続する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットファイルがあり、ヒヤリハット発生時には再発防止をミーティングで共有している。	継続するとともに、ヒヤリハット発生件数を減らす。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待委員会を設け、委員会を開催し、職員研修へとつなげている。	管理者・児発管以外の方も外部研修に行けるように調整していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束を必要とする利用者がいない。	必要に応じて検討する。